



## 【Cha・Cha・Cha で未来を変える!! …今こそ、chance!!】

6月からいよいよ、学校も再開することとなりました。長い「創造的休暇」の間をどのように過ごしましたか。将来について思いを馳せる時間も十分にあったと思います。就きたい職業、行きたい大学、こんな大人になりたい、いじめ問題を解決するために教師になりたい、福祉の現場で介助者が少しでも楽になるようなロボットを開発したい…等々。

日々の生活の中で、今の自分にはとても無理だからとその「夢」をあきらめ妥協してしまう人がいます。あるいは、逆に何の努力もせずその「夢」がかなえられると勘違いしてしまう人もいます。どちらも、せっかくの自分の可能性を閉ざしてしまうことになります。

では、どうすれば、あなたの「夢」を実現することができるのでしょうか。

過去の自分 →現在の自分 →未来の自分

過去の自分 →現在の自分→…

現在の自分 → 未来の自分

現在の自分 challenge → 未来の自分 change

左の図を見てください。「現在の自分」は「過去の自分」の行動や思考によって作られたものです。そして、「現在」はやがて「過去」になります。人間は「過去」を変えることはできませんが、現在を変えることはできます。そして、現在を変えることで確実に未来が変わります。

ということは、「現在」を無為に過ごせば、残念な未来しか迎えられないけれど…。

「現在」において、自分の行動を少しでも変えること、つまり何かに挑戦する (challenge) ことで、確実に「未来の自分」が変わる (change) というでもあります。つまり、今こそが、「なりたい自分」を実現する絶好の機会 (chance) なのです

まず、自分の将来の夢をしっかりと思い描いてください。そして、その実現のために今何ができるかを具体的に考えてみましょう。語学や国際関係を学びたいなら英語検定、看護や福祉系の仕事を考えているならボランティア、また、大学主催の講演会や講習会など、学校でもみなさんが挑戦するための様々な情報を手に入れることができます。(残念ながら今は体験型のものは自粛中ですが、情報を集める手段は本、新聞、ネットなどいくつもあります。) また、日ごろの学習習慣や日常生活を見直すことから始めてもいいでしょう。授業での小テストには合格する、帰宅後すぐに30分勉強する習慣をつける。毎日ニュースを聴く、自分が進む分野に関する新聞を切り抜いてスクラップするなどでも十分です。

その小さな「challenge」の方法を、これまで「郷土の学府」では紹介してきました。大事なポイントは具体的な「challenge」について①目標を設定し、さらに具体的に②いつまでに③何を使って④どれだけの量を⑤どのように取り組むかを明確にすることです。例えば、①古文単語の小テストに毎回合格するという目標を実現するために、②次の小テストまでに③「古単のテキスト(学年によって名前は違うと思います)」を使い、④小テストの

次の日から次回の小テストの範囲を 1/5 に分けて⑤帰宅後すぐに学習し、前日にもう一度全範囲を覚えるというやり方で取り組むというように。更に小テストの日にはその復習をする。授業で出てきた古文単語を「古単のテキスト」で確認する、定期テスト、模擬試験の後も同様に復習するなど、工夫次第で「小テストに合格」という目標は、「古文の実力をつける」という大きな目標を達成することにつながります。

「過去」にしなかったこと、できなかったことを後悔するのではなく、「今」という機会を逃さずに、未来の自分を変える挑戦に取り組みましょう。

## いいかも

### 地方公立大学…先輩が進学した公立大学の紹介

「郷土の学府第1号」で紹介したものの、「いいかも、地方公立大学」は2カ月近くもほとんど皆さんの目に触れることがありませんでしたが、今回は高知県の2つの公立大学を掲示しています。ここでも簡単に紹介しておきますので、是非進路指導室前の掲示を見に来てください。6月半ばに別の公立大学に変える予定です。興味・関心のある人は、それぞれの大学のHPを調べてみましょう。新たな発見があるかもしれません。



先輩は校舎の美しさ、大学内にあるドミトリイの快適さ、そして、**クォーター制(4学期制)**のため、講義に集中できる点を大学の魅力として紹介してくれています。公立大学としては平成9年に開学し、もともとは私立大学でしたので、校舎などの設備はキレイで整っていると思います。また、留学などにも力を入れており、クォーター制も全てを**グローバル基準**という考えで導入されています。「**面倒見のよい大学**」「**小規模だが評価できる大学**」として定評が高い大学です。

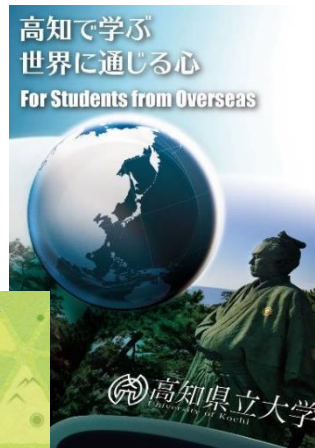
理系の大学というイメージが強いのですが、システム工学群、環境工学群、情報工学群以外に経済・マネジメント学群もあり、**スポーツマネジメント**が学べます。また、理系では人気の**建築学**もシステム工学群で学ぶことができます。志望大学を検討するために大学について調べる際は、学部学科の名前だけでなく、何が学べるかということまでしっかりと調べましょう。



先輩たちは、**少人数講義**が多く、先生との距離が近い点を大学の大きな魅力と感じていますが、それ以外に、**フレンドリーな人が多く一人暮らしに最適なのが高知県の魅力**といっています。第二の故郷ができるという感覚も地方の大学で4年間を過ごすメリットといえるでしょう。

文化、社会福祉、健康栄養、看護の4つの学部があります。文化学部は国文学、英文学に加え、法学、観光学なども学べ、夜間も併設し社会人にも門戸を開いています。看護学部は看護師、助産師の合格率100%を誇っています。

看護学部以外は全国を対象とした推薦入試を実施していますし、文化・社会福祉の2学部については一般入試も3教科受験ですから、私立大学の受験科目で十分対応できます。ただし、推薦入試については専願なので必ず進学しなければいけません。その大学が第一志望の場合のみ受験して下さい。



#### 進路指導部からのお知らせ

進路指導室前のロッカーには、オープンキャンパス、説明会のパンフレットがあります。レターケースに入っているものは持ち帰り自由ですが、近日開催のオープンキャンパスについては、中止になっていたり、ウェブ上での実施に変更されたりしていますので、必ず大学のHPで確認してください。